

## 世界の子どもと本を考える

2018年国際アンデルセン賞・IBBY オナーリスト 2018 巡回講演会・共通テーマ

### 「世界の子どもの本はこんなに面白い！」

2018年国際アンデルセン賞画家賞を受賞したロシアのイーゴリ・オレイニコフの作品をはじめ、今話題の世界の子どもの本を紹介します。

■ 講師 **南平 かおり** 氏 (ロシア児童文学研究者)

■ 日時 **2020年2月16日(日)**  
**13:00 ~ 15:00** (開場 12:30)

■ 会場 **奈良県立図書情報館**  
**1階 交流ホール**  
奈良市大安寺西1丁目1000番地

■ 対象 **一般** ■ 定員 **50名** ■ 参加費 **無料**

■ 申込 ① **奈良県立図書情報館** tel: 0742-34-2111 (代)  
★ Web ページ申込フォーム  
<http://www.library.pref.nara.jp/event/3207>  
★ 来館 (2階貸出・返却カウンターにて受付)  
★ fax: 0742-34-2777  
② **IBBY 事務局** tel: 03-6273-7703



#### 《登壇者プロフィール》

【講師】南平 かおり (なんぺい かおり)

東京に生まれる。1987年早稲田大学第一文学部ロシア文学専修卒業後、3年間児童文学専門出版社に勤務。2000年同大学大学院文学研究科博士課程満期退学後、非常勤講師として早稲田大学、津田塾大学に勤務、現在に至る。専門は日露比較児童文学。共著『続・日露異色の群像30』(生活ジャーナル社、2017年)、論文「昇曙夢と日本の児童文学—ソログープ作品の読者層の拡がり」、(『比較文学年誌』第49号所収、2013年)、「児童文学者としての秋田雨雀とロシア文学—童話「鷹の御殿」と『露西亜童話集』をめぐって」(『ロシア文化研究』第23号所収、2016年)など。

【司会進行】野上 暁 (のがみ あきら)

本名・上野明雄。小学館に勤務し、取締役、小学館クリエイティブ代表取締役社長を歴任。白百合女子大学児童文化学科、東京成徳大学子ども学部などで教鞭をとる。主著に『日本児童文学の現代へ』(パルル舎)、『越境する児童文学』(長崎出版)、編著に『私が子どものころ戦争があった』(理論社)など。日本ペンクラブ常務理事。IBBY 副会長。



IBBY オナーリスト 2018 の表紙

「世界の子どもと本を考える」は、

81の国と地域に支部を持つ子どもの本の組織、国際児童図書評議会 (IBBY) が隔年で選ぶ、国際アンデルセン賞と IBBY オナーリストの本を紹介し、参加者のみなさんと世界の子どもと本について考える巡回講演会です。専門分野の言語に加え、IBBY・IBBY の活動や意義、また各国の作品についてもお話しします。

資料展示では、2018年の国際アンデルセン賞受賞作家・画家の作品、並びに IBBY オナーリスト全作品が、直接手に取ってご覧いただけます。



左:『癒け者のエッセイ集』(ロシア)



右:『川よ、川よ、お前の家はどこにあるの?』(ロシア)



2018年作家賞  
角野栄子 (かどのえいこ)

「角野が過去に滞在した外国でのすばらしい経験は、想像力や創造性を育む源となり、その全てが作品に吹き込まれている」(推薦文より)



国際アンデルセン賞メダル

国際アンデルセン賞

(Hans Christian Andersen Awards)

1953年に国際児童図書評議会 (IBBY) が創設した、2年に1度選ばれる子どもの本の国際的な賞です。その選考水準の高さから、「小さなノーベル賞 (A Little Nobel Prize)」とも呼ばれ、世界の児童文学に大きな影響を与えています。受賞者は、IBBY支部が推薦した候補者の中から、国際選考委員会によって選ばれます。2018年は、作家賞に日本の角野栄子さん、画家賞にロシアのイーゴリ・オレイニコフさんが受賞しました。

2018年画家賞

イーゴリ・オレイニコフ

「絵の力で空想を現実に変化させ、読者に、本の中の出来事はほんとうに起こっていると思わせるのは、とても刺激的だ」(推薦文より本人談)



資料展示

# 世界の子どもの本展

— 2018年国際アンデルセン賞受賞者作品・IBBY オナーリスト 2018 —

国際児童図書評議会 (IBBY) が61の国と地域から選んだ  
50言語、約200冊の世界の子どもの本を展示します。  
ぜひ手にとってご覧ください。

2020年 2/1 (土) ~ 2/16 (日)

会場：奈良県立図書情報館 3階ブラウジングコーナー

〈展示時間〉 9:00 ~ 20:00 ※休館日：3日 (月)・10日 (月)

上：オレイニコフ作『職業のアルファベット』  
下：角野栄子作『魔女の宅急便』

上：『パウルス』(ロシア)  
下：『いさましいちびの仕立て屋』(ロシア)

IBBY オナーリスト (IBBY Honour List)

国際児童図書評議会 (IBBY) が1956年に創設した、世界の優れた子どもの本を集めたリストで、当初は優良賞と呼ばれていました。1980年に「IBBY オナーリスト」と名称をあらため、以来、世界に向けて隔年で発信されています。現在は、文学作品・イラストレーション作品・翻訳作品の3部門からなり、IBBY支部が、世界の子どもたちに読んでほしいと願う、それぞれの国の特徴を持つ最も優れた作品を推薦しています。

2018年版は61カ国50言語191作品が推薦されました。日本からは、文学作品に古内一絵さんの『フラダン』(小峰書店)、イラストレーション作品にスズキコージさんの『ドームがたり』(文：アーサー・ビナード/玉川大学出版部)、翻訳作品に母袋夏生さんの『お静かに、父が昼寝しております：ユダヤの民話』(岩波書店)を選びました。日本国際児童図書評議会 (JBBY) は、世界の子どもの本が、世界への架け橋になると信じ、子どもたちや子どもの本に関心を持つ人たちに、直接手にとってご覧いただけるよう、IBBY オナーリストの全作品を国内で巡回しています。



『フラダン』

IBBY オナーリスト 2018 に選ばれた日本の3作品



『お静かに、父が昼寝しております：ユダヤの民話』



『ドームがたり』

日本国際児童図書評議会 (JBBY) は、国際児童図書評議会 (IBBY) の日本支部として、1974年に設立されて以来、「子ども・本・平和」をキーワードに活動を続けています。JBBYはどなたでも入会できます。会費は国内外の子どもの本を結ぶ活動を支援しています。詳しくはJBBY事務局までお訊ねください。「JBBY事務局」Tel 03-6273-7703 / Mail info@jbbby.org 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32 出版クラブビル5F